

真庭市立勝山小学校(〒717-0007 岡山県真庭市本郷 1801) 令和2年度学校だより6号(5月1号) 勝山大賞
★ホームページ掲載中★

幸せになる練習 子育ては待つ練習 夫婦は許す練習 人生は笑う練習



勝山

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点とれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama_es@sch.city.maniwa.okayama.jp

小学校で大切なこと
学校が好き
学び方がわかる
人とうまく関われる

コロナに勝つ勝山大賞



絶対にコロナに勝つ絶対に

(5年本元翔くん作)



勇気を出して全校の前に立つ

6年生儀田哲平くん

令和2年5月11日(月) 普段であれば体育館で行う児童朝礼を運動場で行いました。コロナ禍の不安がある中でも、子どもたちは楽しそうに学校生活を送っています。例年と全く違う自粛GWでしたが59名の児童が勝山大賞に挑戦しました。その取組の紹介を兼ねて講話をしました。以下、校長講話…

■初めての運動場朝礼です。「**学んだ証は変わる**こと」「**学んだ証はより良く変わる**こと」です。「コロナに勝つ」を合い言葉に、目標をもってGWを過ごした人の紹介をします。挑戦した人は立ちましょう。…素晴らしい。拍手

1年生：芦田愛莉、岩田果子、大隅心愛、桶谷来輝、島田翔空、竹内翔一和、福島健、松尾意駿、松葉江那、山崎晴友、山中龍之介、横山莉也、横山諒丞 2年：井高愛乃恵、植田聖那、宇山侑志、片山堇、工藤奈里、曾田哲平、辻敬十朗、福本遼、藤好ひかり、山田奏音、高橋霸挑、3年：岩田正太郎、大塚真翔、片山美晴、北莉々子、福島煌太、竹内凜一郎、二又大志、山本奏風、横山心音、4年：豊島琉愛、村上綾、米山明奈、宇山大智、坂部栄吉、松尾愛保、松葉和巻、福島咲菜、5年：久保悠斗、近藤亜美、篠崎大介、高見成、高谷こなつ、本元翔、6年：儀田哲平、大越千央、福本太一、山本瑠唯、米山悠太、脇田大空、植田彩耶、栗栖彩泉、阪本実花、近持茂太郎、村上虹太、山本美空…以上59名

■大切なことは苦手なことでもできるようになろうと**努力し続ける**こと。**毎日する、頑張り続ける**。ここです。たとえば、二重跳びを頑張った人が大勢いました。読書も多かったです。すごい人は13冊も読んでいました。自転車に乗れるようになった人もいます。久世まで家族でサイクリングをした人。料理に挑戦した人。中には家族との時間を大切にするためにゲームをしなかった人もいます。さらに、これもすごい。フリーハンドで世界地図を書いた人。英単語を50個も覚えた。ゴルフ、親子でキャッチボール、サッカーのリフティング、バスケのシュート練習。妹や弟の世話。「コロナになったらどうしよう」作文。2年生の曾田哲平くんは、マラソン練習をし、いつもタイムを記入していました。記録を残す。これは素晴らしい取組です。■どれもがすごいんだけど、中でもすごい3人を、紹介します。名前を呼ばれたら大きな声で返事をして前に出ましょう。男子です。3年生です。**岩田正太郎**くん：毎日の運動、勉強、お手伝い…。あなたは新型コロナにうち勝つ強い気持ちの持ち主です。その取組は全校の手本です。次は女子です。2年生、**植田聖那**さん：図書館の本13冊を読破。これはすごい。校長先生もビックリ。お手伝いもできたんだね。あなたは努力の天才です。最後も女子です。1年生です。**岩田果子**さん：毎日の運動、勉強、お手伝い、読書、バイオリン、剣道、日記…。校長先生も超ビックリ。あなたも努力の天才です。今週のMVP…コロナに勝つ川柳…6年生、**栗栖彩泉**さん「がまんして みんなで勝とうウイルスに」同じく6年、**植田彩耶**さん「出かけるな 自分がウイルス 持ってるかも」もう一人5年**本元翔**くん「絶対にコロナに勝とう絶対に」…いいねえ。最後に、福本太一くん以外の応援団長を募集します。出ました。6年儀田哲平くん。「勝山小のみんな、コロナに勝つぞ!!」全員：**OH!!**

コロナに勝つ勝山大賞【保護者の声】

■休み中、親子で縄跳びを競い合い、「子どもより多く跳ぶ」という目標を立て頑張った。よいコミュニケーションがとれた。➡ **お母さんに座布団10枚** ■両親とも仕事があり、一緒に何かするという事はあまりなかったのですが、毎日コロナのニュースを一緒に見て危機感を感じ、自分にできることは何かをしっかりと考えていたようです。➡ **これはこれで素晴らしいことです。** ■恥ずかしいことですが、この課題の興味付けをすることの基本的な難しさを感じた。便利になりすぎた今の時代の子どもに、この自粛生活は貴重な体験。■妹の世話を誰に言われることなくしてくれ助かった。■自分が住む岡山県からどれくらいの距離で起きている出来事かを考え行動する目安にするために47都道府県を学ぶことにした。➡ **素晴らしいアイデアですね。新学習指導要領では4年生で、新潟県の「潟」まで覚えます。** ■長い休みでしたが生活リズムを崩さずに過ごせた。■毎日集中して宿題ができていてびっくり…お手伝い、外遊びもしっかりでき100点満点。■我が家に鉄棒があり、祖父にアドバイスを、祖母に支えてもらい、5月5日には逆上がりをほぼ完成。苦手なことはしない子だったのに…できるようになりたいと、強い気持ちが見えた。「もしも自分がコロナに感染したらどうする」を自学ノートにまとめていた。➡ **素晴らしい** ■「努力に勝るものなし」「すごい集中力で書き上げていた」「親子で逆上がりの練習をした」 ■「健康ならばそれだけで平和で幸せなんだと思うようになった」「勝山大賞の課題について親子で話し合うのが楽しかったし感動した」「宿題に出していただき、親子で話すきっかけ、挑戦するきっかけになりありがたかった」また、「アンパンマンマーチにはとても深い意味があると感じた」等、アンパンマンマーチに対しても、多くの方が感想をお寄せくださいました。コロナ禍の中、保護者の方も様々な思いで過ごされているのが感じられました。

がまんして みんなで勝とう ウィルスに(6年栗栖彩泉さん作)

あいさつ勝小 No1 の江川1通学班



いつも見守りをありがとうございます。



コロナに勝つ勝山大賞優秀賞
1年岩田果子さん、2年植田聖那さん、
3年岩田正太郎くん



A小58人、B小30人…これは登下校の見守り隊隊員の人数です。さて、本校は…0人。正確には見守ってくださる方はおられますが、登録者がいません。見守り組織がないのです。民生児童委員さんの週1回の自主的な見守りに頼っているのが現状で、私が保護者であれば不安なところです。そんな中、写真の岡さんや磯田さんは毎日の見守りをしてくださっています。本当にありがたいことです。見守り隊の組織化を進める必要を感じています。多くの学校で10年以上前に組織化されています。PTA等と課題の共有をします。

6年生が、上級生が手本です…小さな画像ですが、先頭の子が後ろを振り返っています。上級生が下級生をしっかり見守り、良き手本を示しています。こんな上級生を育てることにプラスして多くの大人の見守りの目が必要です。コロナ禍でPTAとの連携も進んでいませんが、課題のひとつです。



出かけるな 自分がウィルス 持ってるかも(6年植田彩耶さん作)